

平成21年度

学校関係者評価表

宮崎県立富島高等学校（全日制）

平成21年度 宮崎県立富島高等学校 自己評価 および 学校関係者評価

<p>【教育目標】 宮崎県教育基本方針および宮崎県人権教育方針に基づき、己の個性を伸ばす自立の心を育て、信頼と強調により友愛を深め、心豊かな生活をめざして創造力を伸ばし、知・徳・体の調和のとれた人材を育成する。</p>	<p>【学校関係者評価のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自己評価の項目や指標は適切に設定されているか。 自己評価の結果は、指標等をもとにした妥当なものであるか。 自己評価の結果を踏まえた成果と改善策は適切であるか。
<p>【経営方針】 富高3Sである「専門性を高めるための基礎学力を身に付ける」「思慮分別のある行動を身に付ける」「何事にもチャレンジし、輝く自分を見つける」を実践・具現化するために、生徒の進路目標の達成を目指し、全教職員が保護者と連携して地域に感動を与え、生徒や保護者が自信や誇りを持てる学校づくりを行う。</p>	
<p>【本年度の重点目標】</p> <p>1 学校は人が育つ場であり、生徒も教師も力がつく教育活動を充実させる。</p> <p>(1) 基礎学力を定着させ、専門性の深化を図るとともに、高度の資格取得や各種検定の合格を目指す。</p> <p>(2) 将来の職業人・社会人としてのマナーや思慮分別ある行動を身に付けさせる指導を充実させる。</p> <p>(3) 校内研修・公開授業の充実、校外研修への積極的な参加、先進校視察の推進を通して授業力向上を目指す。</p>	<p>2 生徒一人一人を大切に教育を実践する。</p> <p>(1) 高い進路意識の醸成・キャリア教育の充実を図り、生徒や保護者とのきめ細かな進路相談、進学先・就職先への訪問及び新規求人開拓などにより、進路目標を達成させる。</p> <p>(2) 学校行事や部活動など、生徒が自主的・主体的に活動する場を充実させて、自立心を育成する。</p> <p>(3) 生徒同士、生徒と教師、教師同士、心が通じ合う人間関係を築くとともに、教育相談体制を充実させる。</p>
<p>3 保護者や地域から信頼され、支持される学校づくりに努める。</p> <p>(1) 学校便りやホームページの充実など、学校からの情報発信によって地域や保護者さらには中学校の本校への理解を促進する。</p> <p>(2) 地域の方や保護者から生徒が直接学ぶ場を積極的に設けることで、交流を図るとともに、教育内容を充実させる。</p> <p>(3) 商工会議所や日向市観光振興課等との連携により、地域の活性化事業へ参画する。</p>	

評価基準	4：十分達成できている。 3：どちらかと言えば、達成できている。 2：どちらかと言えば、不十分である。 1：不十分である。
------	---

評価区分	評価項目	具体的方策	成果・課題・改善策等	自己評価		学校関係者評価	学校関係者評価コメント
				個別	総合		
教育課程の編成	① 学習指導要領の基本方針や趣旨が、教育課程の編成・実施に生かされている。	<ul style="list-style-type: none"> 研修会や教育課程検討委員会において、学習指導要領の基本方針や趣旨を確認し、各教科において教科会を実施し、適切な教育課程の編成となるようにする。 来年度の道德教育の全体計画に着手する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新学習指導要領の改訂の要点を教科主任に配付し、基本方針・主旨等の周知徹底を図った。 ● 来年度の道德教育の全体計画については、本校の実態に合わせて、各部・学年・各教科と連携して取り組んでいく必要がある。 	3	4	4	② 各学科とも、それぞれの特色が出ており、先生方の専門知識がうまく伝わっていると思われる。
	② 教育課程は、基礎的・基本的内容を重視し、生徒の個性を生かす教育の充実が図れるような編成になっている。	<ul style="list-style-type: none"> 各教科において教科会を実施し、基礎的・基本的内容を重視し、生徒の個性を生かす教育の充実が図れるように、選択科目・学校設定科目などの充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成20年度から導入した生活情報科の3類型「被服」「フード」「保育」は、文化祭において初の学科発表を行うなど、生徒の個性を生かすべく教育の充実が図られた。 ● 課題としては、新学習指導要領に合わせた教育課程を、早期から教科会と連携して取り組むことにある。 	4			② 毎年、生活情報科の作品発表には、感動させられる。本年度は、インフルエンザの影響で平日開催になってしまったので、写真で見ることができなかったのが残念であった。子どもたちの集中力は素晴らしい！
	③ 教育課程の改善について、共通理解の場(部会・教科会・学年会など)が設定され、連携が図られている。	<ul style="list-style-type: none"> 教育課程の改善については、部会・学年会教科会からの意見を集約できるように、教育課程検討委員会を毎週1回実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教育課程検討委員会を毎週1回定例で実施することにより、各教科・学科の取り組んでいる内容や特色等を知ることができ、意思疎通が図られている。 ○ 教育課程のみならず、学校施設(視聴覚教室など)の有効利用についても検討を行い、各教科の意向を活かすことが出来た。 	4			② 生活情報科の3類型は、生徒の希望に対応し、集中して学習できるのでよいと思う。
							③ 部会、学年会、教科会、教育課程検討委員会と、それぞれに所属する先生方の負担も相当なものがあると思う。努力に感謝したい。もし、負担が過重であれば、組織体制の検討もお願いしたい。
							○ 全体的に熱心に取り組まれていると思う。

平成21年度 宮崎県立富島高等学校 自己評価 および 学校関係者評価

評価基準	4：十分達成できている。 3：どちらかと言えば、達成できている。 2：どちらかと言えば、不十分である。 1：不十分である。
------	---

評価区分	評価項目	具体的方策	成果・課題・改善策等	自己評価		学校関係者評価	学校関係者評価コメント
				個別	総合		
学習指導・授業の工夫・改善・学力向上	① 年間指導計画やシラバスが作成され、その計画に基づいた適切な授業がなされている。	<ul style="list-style-type: none"> 保護者に対しては、PTA総会において、各学年のシラバスを配付し、成績評価の仕方等について説明を行う。生徒に対しては、授業中に各教科担任から直接シラバスを用い、年間指導計画・評価等の説明を行い、適切な授業が実施されるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 年間指導計画や評価基準等を明確にすることにより、より適切な授業を実施することができた。 ● 今後の課題・改善策としては、今年の年間指導計画を振り返り、来年度に向けた年間計画や評価基準の在り方を教科会で検討することである。 	3	3	3	<p>③ 検定合格者が増大したという結果は、素晴らしいことだと思う。就職難のこの時代に、富島高校は良い方であると思っている。資格が本当に大切であると実感している。</p> <p>③ 日商簿記検定2級が増えたことは、評価できると思う。</p> <p>③ 数々の検定等に対する対策や課外等、先生方の指導・やる気・努力が十分に伝わってくる。</p> <p>③ 文字力テストや英単語テストは、努力する生徒はしているようであるが、しない生徒はしないので、本当に役立っているのか？</p> <p>○ 富島高校は、ここが強いという特長を出し、アピールできると、就職・進学に有利になると感じる。(パソコンであれば、社用文書、画像等で産学協同できる方向など。)</p> <p>○ 全体的に、様々な創意・工夫・努力にびっくりした。有り難いことである。(私が富島高校在学中にはなかったことである・・・)</p>
	② 校内研修・公開授業の充実や校外研修への参加等を通して、授業力向上が図られている。	<ul style="list-style-type: none"> 年2回、公開授業を2週間(1回あたり)程度を設け、各教科の授業を自由に参観できる機会を設ける。また、この公開授業期間中に保護者向けの参観日を2回設ける。 校内研修については、「学習の環境づくり」「授業の改善・工夫」について、職員研修を企画・実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 公開授業を実施することにより、他教科の指導方法等で参考になる点を取り入れることができた。 また、2学期の保護者向けの参観日では、生活情報科の学科発表を同時に行うことで、来校者も多く、かつ評判も良く、本校の教育活動の理解につなげることができた。 	4			
	③ 基礎学力を定着させるとともに、専門性の深化を図り、その成果が認められる。	<ul style="list-style-type: none"> 基礎学力定着のために国語科による文字力テスト(年15回)、英語科による英単語テスト(年10回)を朝のSHRが始まる前に実施する。 専門性の深化と高度資格取得のために、年間計画に基づいた課外や教科の個別指導等を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 文字力テスト(年15回)、英単語テスト(年10回)を計画的に行うことにより、常識的な漢字の読み書き、英単語の綴り等の力を身につけさせることができ、就職試験等に役立っている。 ○ 課外や個別指導等を実施することにより、日商簿記検定の2級合格者が増大した。 	3			
	④ チャイムでほとんどの生徒が着席し、授業開始・終了時の起立・礼等の基本的な学習習慣が確立されている。	<ul style="list-style-type: none"> 4月当初の職員会議において、ベル着・礼法指導の徹底等を、全職員共通理解のもと確認し、生徒に基本的な生活習慣を身につけさせ、授業に集中できるように工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> 各教科会においても、ベル着・礼法指導の徹底等が、重要指導項目の一つに掲げられており、全職員による指導が出来ている。 ● 課題としては、9月から生活に緩みが出て、遅刻者がやや多くなったことである。学年会と連携した指導を考える必要がある。 	3			

平成21年度 宮崎県立富島高等学校 自己評価 および 学校関係者評価

評価基準	4：十分達成できている。 3：どちらかと言えば、達成できている。 2：どちらかと言えば、不十分である。 1：不十分である。
------	---

評価区分	評価項目	具体的方策	成果・課題・改善策等	自己評価		学校関係者評価	学校関係者評価コメント
				個別	総合		
生徒指導・基本的な生活習慣の確立	① 生徒が自主的・主体的に活動する場の充実が図られ、生徒の自立心が育っている。	<ul style="list-style-type: none"> 学校行事（クラスマッチ、生徒総会、生徒会役員選挙、体育大会、文化祭）の計画や準備を生徒とともに取り組む。 各種専門委員会では、委員長と生徒会役員が中心となり、計画や準備・実施後の反省を行うように指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> 多くの部活動生が日々活発に主体的に練習しており、それに伴い実績が上ってきている。 クラスにもよるが学校行事を通して、自主性が生まれつつある。体育大会ではリーダーの主体的な活動が見られた。 ● 専門委員会を活性化させるための方策が課題である。 	3		3	<ul style="list-style-type: none"> ① 部活動の取り組みについては、先生の指導力、子どもたちの頑張りなど、素晴らしく思う。高尾宏明君のウエイトリフティング全国高校総体・国体での活躍は素晴らしかった。 ① 体育大会や輝柏祭（文化祭）の生徒の取り組みは素晴らしい！体育大会では、夏休み返上で応援の練習をしていた。ただ、リーダーだけ盛り上がっているとの意見も耳にした。全員での応援も考えてみてはどうだろうか？ ① 体育大会では、各競技に真面目に取り組んでおり、おもしろく見学させていただいた。応援なども相当な練習と工夫を積んでいるようで感心させられた。 ① 文化祭は、来場者を楽しませようと、アイデア満載の教室もあり、とても楽しく感じた。高尾宏明君の大型モザイク画は素晴らしく、学友の栄光をみんなで称える気持ちが表れていて感心した。 ② 生徒たちが自然体で明るく、全体的にあいさつがよく出来ていると感じる。 ② 生徒の登下校時に車を停めて、横断を待っていると、きちんと頭を下げて渡る生徒さんも多くいて気持ちがよい。全体的にマナーが守られていると感じる。 ② バンクーバーオリンピックのスノーボード国母選手の制服問題でも、国民の評価（価値観）は分かれているように思うが、富島高校として明確な基準を打ち出して、毅然とした指導をすることが、生徒の将来に結びつくと思う。 ② 人を思いやる心、人を引っ張っていく力、弱い者を助ける勇気など、子どもたちが精神的に一番影響を受ける成長期であるので、善悪の基本をしっかり教えていただきたい。 ③ 緊急度の高い低いを、現場の先生方が判断すると、時には判断を誤り、一人で抱え込むようなケースがあるようにも感じる。最終的には管理職も責任を負うことになるので、組織として判断する体制が必要と思われる。
	② 将来の職業人・社会人としてのマナーや、思慮分別のある言動を身に付けさせる指導が充実している。	<ul style="list-style-type: none"> 職員および部活動生による日常的な朝のあいさつ運動と奉仕活動や定期的な交通教室、薬物乱用防止教室、交通立番指導等を実施する。 毎月1回、「生徒指導便り」を発行し、生徒に 社会の現状やマナー向上を訴える。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝の立ち番指導や日常での生活指導により自覚ある行動ができている。また、マナーに対する外部からの苦情も以前に比べると減ってきている。 ● 服装容儀面や言葉遣いの良くない一部の生徒に対しての指導方法の必要性を感じる。 	3			
	③ 生徒指導上の諸問題に適切に対応し、迅速な指導ができている。	<ul style="list-style-type: none"> 緊急度の高い問題については、直接管理職へ相談し対応する。また、継続的な問題については、各学年主任や教育相談部との情報交換を行うなど、該当する担任との連携および該当生徒への面談や家庭訪問を実施する。 全校集会や学年集会で自覚と責任ある行動をするように呼びかける。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題行動発覚から生徒への事情聴取、保護者への連絡、提案等、一連の流れは迅速に対応できている。 ● 一部の職員に負担がかかっている状況がある。組織的な対応の再確認が必要である。 ● 教育相談部や学年主任と定期的な情報交換を行う場が求められる。 	2			
	④ 問題行動の生徒の早期発見とその指導が、全職員の協力のもとになされている。	<ul style="list-style-type: none"> 定期テスト時や毎月放課後に校外巡回指導を実施する。 年2回開催される「日向地区高等学校PTA校外指導連絡協議会」に参加し、生徒の情報交換を行う。 日向警察署（学警連）や青少年育成センター等を訪問し、情報交換を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画的・定期的な巡回指導や、クラス担任の日々の指導により、大きな問題行動に発展するケースはほとんどない状況である。 外部機関や他校との連携体制が確立できており問題行動の未然防止に役立っている。 ● ネット上のいじめに対する対策が不十分である。研修会を通して共通理解を図りたい。 	3			

平成21年度 宮崎県立富島高等学校 自己評価 および 学校関係者評価

評価基準		4：十分達成できている。 3：どちらかと言えば、達成できている。 2：どちらかと言えば、不十分である。 1：不十分である。					
評価区分	評価項目	具体的方策	自己評価		学校関係者評価	学校関係者評価コメント	
			個別	総合			
進路指導・生徒の進路実現の支援	① 学年に応じた計画的な進路指導が行われ、生徒の進路意識も高められている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学年別進路学習会や進路ガイダンスを、計画的に実施する。 ・ 企業視察（1年生）、インターンシップ（2年生）、進路別学習会（3年生）を行い、進路意識を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3年は、総合学習の時間を利用して継続的な指導ができている。また、夏期課外中の進路別ガイダンス（進学）は生徒に好評である。 ● 学年に応じた進路指導はできるが、一時的なもので、時間の確保が難しく継続的な指導ができない。 	3	3	3	<p>① 改善策でも出ているが、1・2年生の進路の取り組みが遅いと思う。先生たちも忙し過ぎないだろうか。もう少し早めに三者面談を何度か計画してもらいたかった。</p> <p>② このような就職難のときにあって、進路の先生方は一生懸命に取り組んでいただいていると感じる。</p> <p>② 今までに経験のない不景気な時期を迎え、先生方も大変なことと察する。仕事や進学も目的を持たない生徒が多い現代にあって、“社会が何かしてくれる”と思っていると、仕事も期待ハズレとしんどさで辞めるようである。社会人として、将来の目標設定をさせるのも、全てに効果ありと思う。</p> <p>④ 就職活動については、今、就職難であるので、保護者に呼び掛け広く情報を得てはどうだろうか？ 一年中募集している企業への就職内定者がいるようであるが、長続きするのかが心配である。最近の傾向として、期間社員、準社員を経て、正社員となるという企業が増えてきている。</p> <p>④ 「動機づけ」ということであれば、『インターンシップ』を1年生から始めることも、考えてみてはどうか。</p>
	② 生徒が自己実現を図ることのできる指導や進路相談が、組織的・計画的に行われ、キャリア教育も充実している。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「総合的な学習の時間（3年生）」を活用し、進路別学習会や就職希望者集会を計画的に行う。 ・ 個人面接指導・集団面接指導や小論文指導等を組織的、計画的に実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 就職、進学（大学・短大・専門学校・看護系）それぞれに分かれて学習することにより、充実した取り組みができている。 ● 日々の指導で職業人、社会人としてのマナーは向上したが、内定後に戻る状況にある。定着指導が必要。 	3			
	③ 生徒の自己実現を図るために、基礎学力の定着と学力向上のための手立てがとられ、有効機能している。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎力診断テストを4月、8月に実施する。 ・ 文字力テスト、英単語テストを実施し、基礎学力の定着に努める。 ・ 就職問題集への取り組みを通じ、自宅学習への指導に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎力診断テストの結果分析会を実施し、以後の進路指導に役立ててもらっている。 ○ 各教科、クラス担任の協力を得て進路指導がなされている。 	3			
	④ 進学先・就職先に関する適切な情報や資料を提供するとともに、新規開拓など進路実現に向けた支援が行われている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 進路室にクラス用ボックスを準備し、係の生徒にクラス掲示を指導する。 ・ 進路対策専門員を中心として、進路指導部職員で企業訪問の計画を立てる。 ・ 各種会合への参加を心掛ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 会合の中で、できるだけ富島高校のPRをするようにしている。 ● 3年生は積極的であるが、1・2年生の状況は悪い。 ● 3年の学級担任が多く、学校行事等でなかなか企業訪問ができない状況がある。 	3			
学校保健・学校安全	①年間計画に基づいた健康診断等が行われ、生徒・職員の健康管理と疾病予防が適切に行われている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校保健安全計画に基づいた生徒・職員の健康診断を実施する。 ・ 職員対象の研修会、生徒対象の健康講話等を実施し、疾病予防の意識の喚起に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 健康診断については、予定通り実施することが出来た。再検査が必要な生徒には、精密検査及び治療を促した。 ○ 疾病予防についての講話や研修会等を実施し、健康への意識の高揚に繋がった。 ● 自己の疾病対策が出来てない生徒には、疾病に対する知識・改善策を学ばせる必要がある。 	3	3	3	<p>① 新型インフルエンザの流行により、学級閉鎖がかなり発生したが、先生方の適切な指導・対策により、思ったより混乱はなかったと感じた。</p> <p>① 歯の治療済み報告の提出はどうでしょうか？ 小さいことから実行したらよいと思う。</p> <p>② 地震対策はされていると思うが、3年から5年単位で、日向灘も地震が起きると言われているようである。</p>
	②防災・防火等に対して組織的・計画的な方策が実施されている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災・防火時の避難経路及び役割分担の確認を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災・防火時の緊急避難訓練を実施し、震災や火災時における冷静な行動、判断、命の尊さについて、意識を高めることが出来た。 ● 緊急時の生徒・職員の組織的な行動が出来るように、更に意識を高めていくことが必要である。 	3			

平成21年度 宮崎県立富島高等学校 自己評価 および 学校関係者評価

評価基準	4：十分達成できている。 3：どちらかと言えば、達成できている。 2：どちらかと言えば、不十分である。 1：不十分である。
------	---

評価区分	評価項目	具体的方策	成果・課題・改善策等	自己評価		学校関係者評価	学校関係者評価コメント
				個別	総合		
環境 美化	①毎日の清掃活動に積極的に取り組み、学校を汚さない心や、教室・校庭等にチリひとつない環境づくりへの姿勢が見える。	<ul style="list-style-type: none"> 毎日の清掃、身の回りの整理整頓を行わせ「心地よい学習環境」づくりに努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 各清掃区域に監督者を配置することにより、生徒の清掃への取り組みがよくなった。 ● 監督場所が複数箇所割り当てられているため、生徒に十分な指導が行き届かない状況が見られる。 	3	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ① 校内の清掃はよく出来ていると思う。ゴミが落ちていない。欲を言えば、もう少し花があるとよいかと思う。 ① 無言清掃を実施してはどうか。 ② 学級花壇のコンクールは、子どもたちも楽しみにしている。 ② 校内は、定時制課程があるにもかかわらず（夜まで人の出入りがある）、いつもきれいと感じる。
	②生徒・教師ともに美化意識の高揚について、その成果が窺える。	<ul style="list-style-type: none"> 学級花壇コンクールや校内・校外におけるクリーン活動を通して「自然を大切する心と協力する心」を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 普段の学校生活では見られないような積極的な態度で、美化活動に取り組むことができた。 ● 日々の花壇管理（水やり・除草等）が不十分である。 	3			
P T A 活動の活性化と家庭との連携	① P T A 役員会や各専門委員会が計画的に開催され、P T A 活動の活性化に繋がっている。	<ul style="list-style-type: none"> 年間予定どおりに、役員会及び常任委員会を実施する。 各専門部長との連携を密にし、保護者の役割分担を再編成し、P T A 活動の活性化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> P T A 役員と行事の確認をし、協力を得られる手立てをとった。 生活指導部の夜間巡回指導では、多くの保護者に協力していただいた。 ● P T A 活動の行事の再検討が必要である。 	3	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ① P T A 役員と先生方との連携も良く、メールの活用で連絡漏れがなくなった。 ① 学年P T A 集会等、参加率に問題はあがるが、豚汁ふる舞いでは、多くの保護者に協力してもらった。 ① P T A 研修では、同じ人の参加が多かったように思われる。 ① P T A 役員は、組織・役員選考委員会・会則等、新しく作り変えたらいいのではないか。 ② 総会、P T A レクリエーション、豚汁振る舞い、夜間巡回指導等、保護者の参加の多さには驚く！ 反面、授業参観等の人数の少なさにも驚く（子どもが「来るな！」と言っているらしい）。参加者が少ないため、教室に入りにくい雰囲気もある。 ② やはり教育は家庭が基本と思うので、親の関心を促す活動となると、P T A 活動が必要かを感じる
	② P T A 組織がよく機能し、学校と家庭（保護者）との連携が図られている。	<ul style="list-style-type: none"> P T A 連絡文書ファイルを配付する。 各行事ごとにP T A 役員と事前の打ち合わせを行い、組織的な活動を行う。 クラス連絡網を活用し、P T A 総会や学年P T A への参加を呼びかける。 	<ul style="list-style-type: none"> P T A レクリエーションには、多数の保護者の参加があった。 研修会等の企画が昨年通りに実施できた。 ● 保護者の仕事の関係で、平日の参加が難しくなっている。 ● P T A 連絡文書ファイルが活用されているかが課題である。 	3			
図書活動・読書指導	① 読書活動が推進され、開かれた図書館づくりが行われている。	<ul style="list-style-type: none"> 図書の購入、図書館内の特設展示、新着図書紹介等を随時行い、月1回発行の図書便りや学校HPで紹介する。 学級文庫の定期的な貸出・入れ替え、読書に関する標語の募集、学期1回の朗読放送などを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の希望図書や話題の図書を購入し、読書活動の推進を図ることができた。 読書に関する標語や朗読放送は積極的な生徒の参加が見られた。 ● 保護者や地域の方々にも利用してもらえよう、さらに啓発活動に力を入れたい。 	3	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ① 月に一度の「図書だより」は、生徒だけでなく我々保護者も楽しめる。司書教諭の読書の大切さの思いが伝わってくる。素晴らしい図書館を、一般開放して、将来、地域とのコミュニケーションの場に出来ないものだろうか。 ① 月1回の図書便りの発行は良いと思う。 ① 図書内容としても良く、整理整頓がされていると感じる。保護者の利用が出来るものであれば、P T A の常任委員会等でも声をかけていただければよいのではないだろうか。 ② 本を読まなくなったと言われている。読書は人間づくりの基本であると思う。是非、朝の10分間読書は継続していただきたい。
	② 朝の10分間読書は、全職員指導のもと目的が達成されている。	<ul style="list-style-type: none"> 朝読書の意義、教師が読むことで見本を示すという態度について、職員会議の場で説明する。 図書部員が教室を回り、朝読書の状況を把握する。 	<ul style="list-style-type: none"> ほとんどのクラスで、静寂の中読書ができている。 ● 全職員の指導の下で行われているとはいえない。また、クラスによっては、読書が行われていないときもあった。 	3			

平成21年度 宮崎県立富島高等学校 自己評価 および 学校関係者評価

評価基準	4：十分達成できている。 3：どちらかと言えば、達成できている。 2：どちらかと言えば、不十分である。 1：不十分である。
------	---

評価区分	評価項目	具体的方策	成果・課題・改善策等	自己評価		学校関係者評価	学校関係者評価コメント
				個別	総合		
人権教育・教育相談	① 人権学習は、年間計画に基づいて適切な指導が展開されている。	<ul style="list-style-type: none"> 人権尊重の視点を踏まえ、生徒の望ましい人間関係づくりと自己実現のための支援を行う。 各学年に応じた計画的・継続的な人権教育を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 人権標語を生徒自ら作成し、それらを校内に掲示することで、人権意識の向上を図った。 各学年とも、人権学習の事後指導として、生徒の感想文を集約することで実態が把握でき、また生徒へ還元することで、その深化が図られた。 ● 普段からの継続的な啓発や指導が不可欠であるため、生徒はもとより、教職員や保護者へ向けての啓発活動を講じていきたい。 	3		3	<ul style="list-style-type: none"> ① 昨年度の学校関係者評価に出ていた「おくりびと」の上映を早速していただいた。 ① ほとんどの生徒が、自分のブログ等を持っており、うまく利用できている者もいるが、思わぬ落とし穴があり、なかなか難しい問題であると感じる。 ① 生徒たちの心を開いた相談の場をつくられることは簡単なことではなく、最も難しいと思うが、最近、社会全体が疲弊し（自殺者は全国第2位の宮崎県である）、みんなで声をかけようとの運動も始まった。学校だけでなく、社会全体で子どもたちに関心を向けるべきであると思う。 ② いじめ等については、何も聞かないので安心している。不登校の生徒も、今は登校しているとの情報にほっとしている。先生のご努力があったのだと思う。 ② 退学者は出来るだけ少なくしたい。
	② いじめ問題や不登校などの学校不適応について、予防から解決まで適切な指導が行われ、教育相談体制が充実している。	<ul style="list-style-type: none"> 中途退学対応教員を中心に、正副担任や教科担任等との常時的連携を図り、生徒の状況把握に努める。 毎学期、2週間程度の教育相談週間を実施することにより、生徒の抱える悩みや問題を掌握する体制を整える。 「開かれた相談室づくり」に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育相談室の利用状況や不適応傾向にある生徒の状況を定期的に報告し、それに基づいた面接指導を行なった。また、学年会へ出直し、担任と連携した指導を行なった。 グループ・エンカウンター、生活実態調査の実施、医療機関等と連携しての対応、特別支援教育についての研修などを行い、生徒への直接的・間接的な支援活動を行なった。 相談室改造を行なったことで、利用しやすい、訪問しやすい相談室になった。 ● 相談活動に必要なスキルを積極的に身につけることが必要である。 	3	3		
事務	① 公費・私費の効率的な予算執行、及び施設・設備の管理・整備が適切に行われている。	<ul style="list-style-type: none"> 相互チェック機能を働かせ、効率性等確認しながら予算を執行する。 校内巡視を定期的に行い、施設設備等不備な箇所の発見に努める。 生徒、職員等の要望に迅速に答える。 	<ul style="list-style-type: none"> 事務室内でチェックし、効率性等を確認しながら予算執行できた。 不定期ではあったが、校内巡視を実施し、施設・設備等不備な箇所の発見に努め、改修等実施した。 ● 更に連携を密に事務室内職員相互のチェック機能強化を図りたい。 ● 定期の校内巡視実施がなかなかできないので他部門との連携を図り、不備な箇所の早期発見を図りたい。 	3		3	<ul style="list-style-type: none"> ① クラス費の仮払い要望に迅速に対応していただき良かったと思う。昨年度よりも、保護者間の親睦が取れたと感じている。 ① PTA雇用事務員の仕事内容・雇用契約等が不明である。PTA会費の使用用途については、PTA雇用事務の仕事ではないのか？役員会等での出席をお願いしたい。 ② 政権交代、平成22年度からの授業料等の取り扱いについて、役員会や常任委員会で経過報告がなされた。早期の説明は評価できる。保護者全員が注目していることでもあり、わかり次第、文書等で報告をお願いしたい。 ② 授業料の滞納などの問題に対して、事務職員の方々は一生懸命に取り組んでいただいている。 ② 育英資金、奨学金の積極的な利用を促すことも、指導の一環だと思う。
	② 授業料等、長期滞納の解消が適切に行われている。	<ul style="list-style-type: none"> 月に一度は未納通知を配付、学級担任より電話連絡を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 通常実施すべき保護者への連絡・督促は実施してきた。 ● 長期滞納の解消には、なかなか繋がらないため、内容証明付郵便等連絡、督促方法の変更等を考えたい。 	3			

平成21年度 宮崎県立富島高等学校 自己評価 および 学校関係者評価

評価基準		4：十分達成できている。 3：どちらかと言えば、達成できている。 2：どちらかと言えば、不十分である。 1：不十分である。					
評価区分	評価項目	具体的方策	自己評価		学校関係者評価	学校関係者評価コメント	
			個別	総合			
地域との連携	① 学校からの情報発信によって、地域や保護者、中学生の本校への理解が促進されている。	・ インターネットの学校ホームページを充実させるとともに、広報紙「富風」を定期発行することにより、学校の広報活動に努める。	○ 従来の学校ホームページを全面的にリニューアルし、特に、中学生を意識した学校情報を増やすなどして、内容の充実を図った。 また、広報紙「富風」を発行、関係中学校へ送付したり、同窓会（富友会）で配布するなど、学校の広報活動を積極的に行った。	4	3	4	<p>① 学校のホームページが全面的にリニューアルされて、とても良くなっていると思う。</p> <p>① 色々なブログが貼ってあり、内容も充実していると感じる。ただ、ホームページは鮮度が命なので、更新を頻繁にしないと飽きられると思う。いっそ、校長先生のブログを作って、毎日更新にしたらどうか。（2～3行でもよいので。）</p> <p>① 中学生に対して、富島高校卒業生の進路状況（就職先や進学先等）をもっと詳しく知らせる方法はないか？ 特に、国公立大学・私立大学の合格者すら知らない中学生もいる。</p> <p>② インターンシップでの体験は、将来の子どもたちの夢につながるものであり、責任感や働くことによる様々な感謝の気持ちも学習できているようだ。</p> <p>② インターンシップの実施により、高校生が社会の中で働いている人たちや仕事に大変さを体験でき、良い制度であると感じている。</p> <p>③ ふらっと駅前市への参加も、とても好評で目配り・笑顔ともに、一生懸命な取り組みを感じるが、時間・人手・資金は大変と思う。若い人たちが日向の活性化のために少しずつ動き始めている。</p> <p>③ キャンドルナイト参加も、一つの切っ掛けになったかと感じている。</p> <p>③ 地域振興券は私も利用した。ポイント還元率もよく、加盟店さんからも素晴らしい企画であるので、また是非やってほしいとの声があった。子どもたちも本当に良い体験になっていると感じる。可能な限り継続をお願いしたい。</p>
	② 地域の方や保護者等から生徒が直接学ぶ場が積極的に設けられ、教育内容が充実している。	・ 地域の企業・事業所等の協力を得て、インターンシップ（就業体験）や実習を実施する。	○ 今年度も、2年生を対象に、7月に87箇所の企業・事業所等の協力を得て、5日間のインターンシップ（就業体験）を実施することができた。また、商業科「課題研究」の“現場実習”および生活情報科の“幼稚園実習”において、地域の協力を得て体験型の実習が展開された。生徒たちは、このような体験を通じ、正しい職業観と勤労観が養われ、自己の進路選択にその体験が生かされている。	3			
	③ 地域の活性化に貢献している。	・ 課題研究生徒商研班により、地域貢献を意識した研究活動を行う。 ・ 商工会議所等の主催による地域のイベントに富島高校の生徒として参加する。	○ 「ふらっと駅前市への出店」、「地域振興券を活用した新ポイントサービスの提案」等を実施し、商工会議所や新聞等で大きく評価して頂きた。 ○ 100万人のキャンドルナイト「ひゅうがの灯り」開催など、部活動の生徒たちがボランティアで参加し、地域活性化の一端に貢献した。 ● 「ふらっと駅前市」への出店は、大がかりな準備や土曜・日曜での活動上、日程や人手・資金面で課題を感じている。	3			